



やすらガーデン

下関市安岡地区複合施設

開館記念

▶はじめに

下関市安岡地区において皆様に長い間親しまれてきた安岡公民館、安岡支所、園芸センターが、安岡地区複合施設「やすらガーデン」として生まれ変わります。

この「やすらガーデン」は、基本コンセプトを「緑あふれる多世代交流型コミュニティ空間の創造」と掲げており、集会施設棟や園芸に関する実習・相談ができる園芸棟、芝生広場からなる安岡コミュニティセンターとともに安岡支所や、はまゆう図書館、都市公園を一体的に整備いたしました。

また、施設の周辺は民間主導により住環境を整備し、官民が連携してコンパクトで賑わいのあるまちづくりを推進するため、設計・施工から管理運営までを民間事業者にて提案を求め、一括で発注するPFI（民間資金等活用事業）の手法を採用しております。

この「やすらガーデン」のオープンを契機に、以前から懸案であった公民館や支所の老朽化や避難所としての安全性確保など諸課題が解消されるだけでなく、安岡地区における新たな活動拠点として、その愛称とともに皆様に長く親しまれる施設となると確信をしております。

結びに、事業の推進にあたり、株式会社モア・ザン・グリーンの構成企業や協力企業をはじめ、関係各位のご高配に深く敬意と感謝を申し上げます、挨拶といたします。

令和7年1月 下関市長 前田 晋太郎



INDEX

はじめに	1
安岡公民館・安岡支所のあゆみ	2
園芸センターのあゆみ	3-4
「安岡地区複合施設」として新たなスタート	5-6
— 安岡地区複合施設整備事業の経緯	
— 施設概要	

編集・発行

下関市市民部まちづくり政策課

〒750-8521 下関市南部町1番1号

2025年1月発行

▶ 安岡公民館・安岡支所のあゆみ

安岡公民館は、社会教育法に基づく社会教育施設で、地域内住民のために、実際生活に即する教育、学術及び文化に関する各種事業を行い、もって住民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与することを目的として設置された施設です。安岡支所との複合施設で、地域づくり・まちづくりの拠点として親しまれてきました。

沿革

- 1965年 10月 竣工
- 1990年 3月 増築
- 2024年 12月 安岡公民館 閉館
- 2025年 1月 安岡支所 やすらガーデンに移転

施設概要

- 住 所 下関市安岡駅前二丁目7番1号
- 構 造 鉄筋コンクリート造 4階建
- 敷地面積 1,944.51㎡
- 総延床面積 2,145.00㎡（倉庫等を含む。）



1965年竣工当時▲

利用状況

- 2021年度 18,296人
- 2022年度 17,476人
- 2023年度 23,999人



2024年撮影▲



安岡公民館長 藤堂 佳良

安岡地区における社会教育、生涯学習活動の中核施設として利用されてきた安岡公民館は、地域住民をはじめ自治会や利用団体の皆様に愛され、その役割を十分に果たしてきました。

開館当初は結婚式や披露宴が行われ、地区の文化祭や新年祝賀会会場としても広く利用されてきた施設であり、地域住民にとって愛着深く、心の拠り所にもなっていたものと思います。

わずか2年9カ月でしたが、奇しくも私と同学年の安岡公民館の運営に携われたことに感謝いたします。

▶ 園芸センターのあゆみ

園芸相談や講習会を実施するとともに、展示会やイベントを通して、野菜、花き、果樹の栽培技術の開発・普及を行いました。園芸文化の発展に寄与し、多くの市民等に親しまれる施設でした。

施設概要

(園芸センター)	敷地	45,885 m ²
	来園者	年間約 10 万人の来園者
	講座	年間約 80 講座 2,600 人
	園芸相談件数	年間約 2,000 件の相談
(勝山苗ほ場)	敷地	13,698 m ² (うち市民ふれあい農園 5,297 m ²)

1958年6月 下関市農業試験場の設立

園芸作物の試験研究を通して農業者の技術の向上と経営改善を図るため、農業団体や農業者の期待を担って設立。その後、温室が次々と建設され、メロン、キュウリ、カーネーションなどの栽培試験が行われた。

1959年 造園

農業試験場開設と同時に、場内の造園、植栽を職員で行った。造園士東梅里氏（当時日本三人の一人）の指導で、石組み、生垣作り、ツツジの植栽を行った。

1962年 洋蘭の栽培試験開始

1970年11月 花き球根冷蔵庫の建設

大型の球根専用冷蔵庫を建設。花き生産を支えた。

1973年 下関市農業試験場から下関市園芸センターに名称変更

1974年 講習会、展示会、園芸相談受付開始

市民を対象とした各種の講習会、展示会を各団体の協力を得て開催。電話による園芸相談も、閉園まで続いた。

1974年 椿園、樹木展示

当時は珍しい西洋ツバキを含む椿園を開設。

1975年 盆栽展示

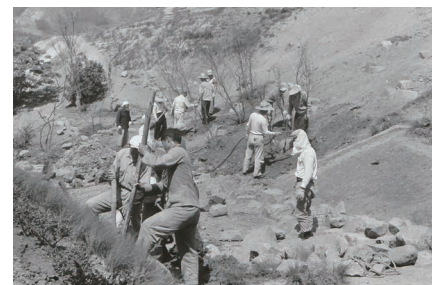
園芸教室盆栽研究会を中心に、栽培技術を伝承し続け、およそ800鉢の盆栽を展示。

1975年4月～ フラワーセンター設置事業

1976年3月 熱帯果樹温室、サボテン温室、洋ラン温室、モデル花壇などを整備。



1958年、設立当初(全景)▲



1959年、石堀と造園の様子▲



1970年、チューリップの栽培試験風景▲



1975年、フラワーセンター設置事業▲



1975年、園芸センター▲



1975年、盆栽展示▲



- 1980年10月 下関市、中国青島市友好都市締結記念樹園
友好都市締結1周年を記念して、青島市から寄贈された樹木で記念樹園を造成。
- 1984年9月 実技実習室建設
講義だけでなく、実技もできる実技実習室を建設。盆栽、花き、果樹、花木などの実技指導ができるようになった。
- 1985年 ニュートンの「リンゴの木」の展示
ニュートンが万有引力を発見したきっかけとなったリンゴの木。その枝をもとに増殖された苗木を植栽した。
- 1990年5月 観賞用大温室建設
熱帯、亜熱帯植物の観賞用大温室を建設。ヤシ類や熱帯スイレン、洋蘭類などを展示し、見学者の関心を集めた。
1991年からはバラグアイオニバスの試乗を開始。
- 1991年3月 バラ園の設置
設置当時は県下最大のバラ園で、260品種1,000株のバラが咲き乱れ、多くの来園者を楽しませた。
- 1992年4月 勝山苗ほ場の設置
苗ほ場で草花の苗を作り、自治会等の団体へ配布。市内の緑化へ貢献した。野菜の有機栽培試験、伝統野菜の種の保存業務などにも取り組んだ。
- 2002年11月 市民ふれあい農園を開設
市民が自分で野菜を育てることができる農園を勝山苗ほ場に開設。
- 2018年3月 日本ツバキ協会に新花「壇之浦」登録
園芸センターで作出したツバキを日本ツバキ協会に登録。自治体初の登録で注目を集めた。
- 2019年3月 下関市園芸センター60周年記念行事
展示室いっぱいに色も形もさまざまなパンジー・ピオラを展示し、虹色のパンジーフェスティバルは好評を博した。
- 2022年3月 下関市園芸センター感謝の集い
惜しまれながら閉園。試験場時代から63年の歴史に幕を下ろした。



ニュートンのリンゴの木▲



1990年、観賞用大温室完成式典▲



バラグアイオニバスの試乗▲



1991年、バラ園の設置▲



2005年、フラワーフェスティバル▲



2019年、パンジーフェスティバル▲

元下関市園芸センター所長 木村 英世さん

安岡地区複合施設「やすらガーデン」の開業、心よりお祝い申し上げます。

園芸センターは1958年に下関市農業試験場をルーツとして開業して以来、多くの皆様にご来園いただくとともに、品種改良や栽培技術の向上など多くの成果をあげ、希少な植物を残してまいりました。園芸センターは機能再編となりましたが、これまで培われたものは、講習会、展示会、園芸相談などで引き継がれていくものと思います。複合施設となり、施設の効率的な利用、利便性の向上や賑わいづくりだけでなく、これらのコラボレーションにより、植物を通じた多世代の交流、地域の交流がさらに促進されるものと大いに期待しております。

植物は人の心を和ませ、人の輪を広げる力を持っております。植物に関する様々な体験など、今までできなかった新たなサービスのご提供、園芸の新しい楽しみ方のご提案などにより、新たな文化や価値の創造へとつながれば望外の喜びであります。本施設が末永く市民の皆様にも愛される施設となりますようお祈りいたします。



「下関市安岡地区複合施設」として新たなスタート



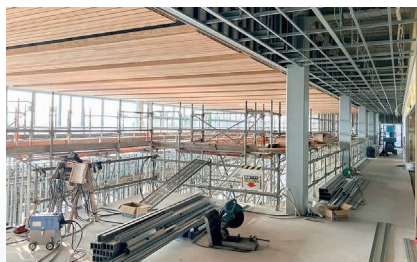
2023年12月 園芸棟の基礎工事



2024年3月 集会施設棟工事 外観



2024年4月 園芸棟工事



2024年5月 集会施設棟工事



2024年8月 工事中建物 全景

安岡地区複合施設整備事業の経緯

- 2020年 2月 「安岡地区複合施設整備事業基本構想」策定
- 2021年 3月 「安岡地区複合施設整備事業基本計画」策定
- 2021年 9月 特定事業の選定
- 2022年 6月 「株式会社モア・ザン・グリーン」と事業契約締結
- 2022年 6月 施設整備業務(設計業務)開始
- 2023年10月 着工
- 2024年 3月 「下関市安岡地区複合施設の設置等に関する条例」制定
- 2024年 6月 施設愛称「やすらガーデン」に決定
- 2024年10月 竣工
- 2025年 1月 開館記念式典開催
- 2025年1月14日 供用開始



施設概要

所在地	下関市富任町五丁目3番、7番及び10番	
施設	集会施設棟	園芸棟
構造	鉄骨造	木造
階数	地上2階	地上1階
免震・制震・耐震の種別	耐震構造	
建築面積	1,772.78 m ²	322.65 m ²
延床面積	2,833.51 m ²	299.81 m ²
主要施設	安岡コミュニティセンター アトリウム はまゆう図書館 安岡支所	実習室 展示室 相談室



芝生広場	1,900 m ²
駐車場	自動車駐車場 : 140台 (うち多目的駐車場5台) 自転車等駐車場: 30台
都市公園 (約1.5ha)	園路 種まき花壇



はまゆう
図書館



講堂



キッチン
スタジオ



複合化により期待されること

安岡公民館運営審議会 委員／安岡自治会連合会 会長 **西山 秀秋さん**



安岡地区複合施設「やすらガーデン」の落成を心よりお祝い申し上げます。
安岡公民館から複合施設として生まれ変わった「やすらガーデン」は、コミュニティ施設、安岡支所、はまゆう図書館が一体となった集会施設棟をはじめ、園芸棟や都市公園、芝生広場等で構成されています。完成を心待ちにしていた安岡地区民はもとより、周辺地域の皆様にとっての憩いの場、コミュニティの拠点として大いに活用されることを期待しています。
また、昨今の気候変動による各種災害等の発生が危惧される中、風水害のみならず地震災害にも強い防災拠点機能を持ちあわせているため、安心して過ごせる避難所運営が可能となるなど、防災に強いまちづくりの一翼を担うことが期待できるものと思います。
どうか皆様には落成を契機として、地域住民の相互交流の場として「やすらガーデン」の有効活用をお願いしまして、お祝いの言葉とさせていただきます。

愛称「やすらガーデン」について

安らが岡(安岡)とガーデン(園芸センターがあった場所)を組みあわせて「やすらガーデン」にしました。ガーデンは広場という意味もあるので、「みんながやすらぐ広場」という意味もこめられています。



- 2024年3月1日～4月1日の期間で募集し、303件の応募の中から、近藤雄月様(市内在住 小学生)の作品が採用されました。

